

◆平成22年度 文部科学省全国学力・学習状況調査 調査結果のポイント

幼稚園に通っていた児童生徒の正答率が高い傾向に

(財)全日本私立幼稚園幼児教育研究機構 理事長 田中 雅道

7月30日に平成22年度全国学力・学習状況調査の結果が、文部科学省より公表されました。この調査は、小学校6年・中学校3年を対象として実施されているものですが、今年度新たな調査項目として、小学校国語・算数、中学校国語・数学の調査結果と調査対象児童の小学校入学前の状況とのクロス集計が新たな調査項目として加わりました。その結果については、7月30日午後5時に文部科学省から公表されています。(一部抜粋は別紙のとおり)

この結果、全項目で幼稚園卒園児は、保育所卒園児と明らかに有意な差で上位となりました。全国の幼稚園教育に携わる皆様方の真摯な取り組みの結果と感謝申し上げます。

報道各社から幼稚園教育と保育所保育の違い及び、この結果の理由についてコメントを求められています。今回は、幼稚園教育と保育所保育の内容的な差を強調するのではなく、幼児期の教育が環境を通して行うことの特性から踏まえ、幼稚園における設置基準と保育所の設置基準の実態(子どもが主体的にかかわることのできる場を自前で確保している幼稚園に対して、保育所は近くの公園などを利用して子どもの遊び場を確保しているが、この場合、子どもは環境に主体的にかかわることができず、保育者についていた時間のみ場が保証されている)の差が大きな原因ではないかというコメントにとどめております。

今回の調査が、小学校6年、中学校3年と、幼稚園・保育所の卒園後、相当時間が経過した後での結果であることにも注目しています。幼児期に培われる学力の基礎は、7・8歳の壁といわれる抽象的思考を獲得していく過程で出現していることに大きな意味があるのではと考えています。ビルの一室を使って、小学校低年の学習内容を詰め込むことはできますが、真の学力は育たないということをこのテスト結果は物語っているのではないのでしょうか。

[今号は2枚]

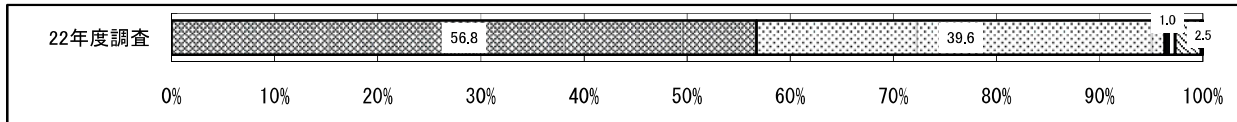
幼児教育経験

◎ 3歳から6歳までの間に、幼稚園に通っていた児童の割合は約57%、生徒の割合は約59%であり、保育所に通っていた児童の割合は約40%、生徒の割合は約38%である。

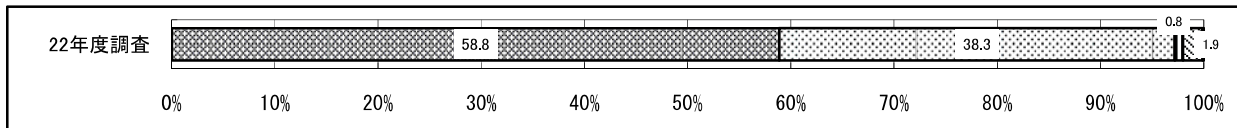
幼稚園に通っていた
 保育所に通っていた
 どちらにも通っていなかった

わからない
 その他
 無回答

【小学校】*質問35：保育所や幼稚園に通っていましたか **新規**



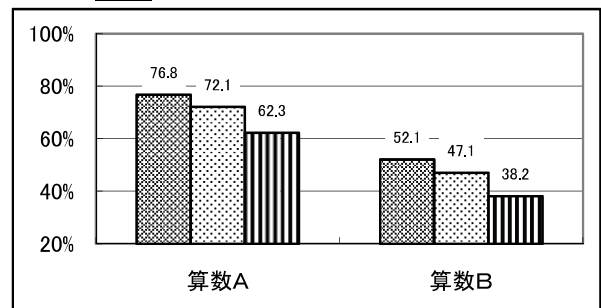
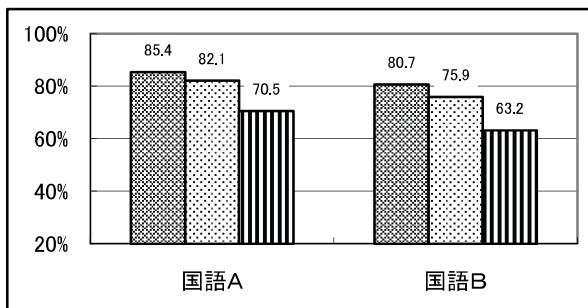
【中学校】*質問35：保育所や幼稚園に通っていましたか **新規**



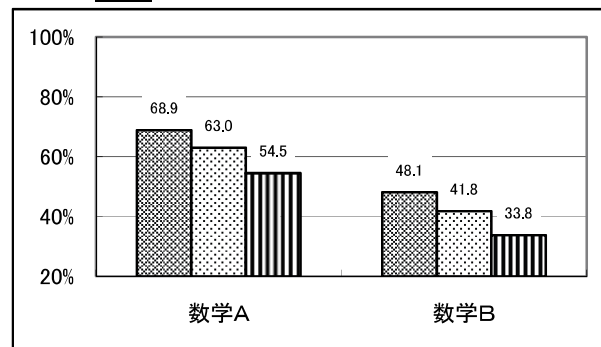
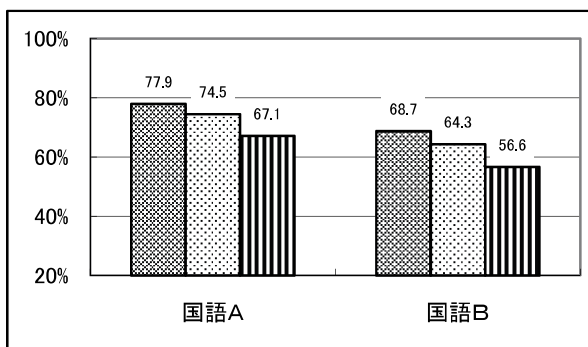
◎ 3歳から6歳までの間に、「幼稚園に通っていた」児童生徒、「保育所に通っていた」児童生徒、「どちらにも通っていなかった」児童生徒の順に、正答率が高い傾向が見られる。

幼稚園に通っていた
 保育所に通っていた
 どちらにも通っていなかった

【小学校】*質問35：保育所や幼稚園に通っていましたか **新規**



【中学校】*質問35：保育所や幼稚園に通っていましたか **新規**



※「わからない」の選択肢は省略している。